2/9(木)19:00-20:30 実施

社会人合格者インタビュー①

体験記

内容	頁
1 時間の確保について (平日仕事をしながらいかに勉強時間を確保するか)	p. 2
2 勉強法について(1) 「分散学習」(2) 「想起学習」	p. 2 p. 3
3 テキストへの一元化	p. 3
4 各科目のバランスについて ⇒図表:平日の過ごし方・2年間の勉強時間/配分記録 短答/論文直前期の過ごし方	p. 3-
5 オンラインサポートの活用方法 (個別成績相談、ホームルーム、テキストチェックゼミ)	p. 6
6 失敗談・途中改善したこと(全般・科目ごと) 参考:実際の論文式本試験成績表	p. 7
7 遠方通信生・社会人受験生へのメッセージ	p. 9
参考:テキストチェックゼミについて	p. 10

別途配付資料:画像集(スケジュール帳・アプリ使用例・テキスト一元化)

【開催後アンケートご協力のお願い】

今後の運営改善・企画検討のため、下記の URL/QR コードからアンケートにぜひご協力お願いします。

URL:社会人合格者インタビュー 開催後アンケート(2023. 2. 9 開催) (google. com)



Nさん(社会人[金融業] 2022 年 11 月合格発表時 31 歳 2022 目標 2 年 コース 2021 年 12 月短答合格→2022 年 8 月合格 愛媛通信生)

1 時間の確保について(平日仕事をしながらいかに勉強時間を確保するか)

結論から申し上げると、朝型に生活をシフトしました。具体的には、以下の表のようなスケジュールです。仕事後に勉強することも考えましたが、残業があった場合に計画が狂うことや仕事による疲労で集中力が保てないことがあると考え、仕事後家に帰ってから勉強する時間は1時間にしました(短答までは家に帰ってからは40分)。 ※平日の過ごし方・・・・p. 5・6参照

2 勉強法について

他の受験生とは相対的に勉強時間が少ない中でいかに効率よく勉強できるか、 が合否を分けると思いましたので、勉強法を勉強するために、勉強法の書籍を購入しました。具体的には、メンタリスト DaiGo さんの「超効率勉強法」です。この書籍の中で学んだ勉強法は、合格するために極めて重要なことだったと私自身感じており、この書籍から実践した勉強法は主に2つあります。

(1) 「分散学習」

「分散学習」とは、復習の期間について、復習回数を重ねる毎に伸ばすことです。とある研究で、記憶に残りやすい復習間隔の日数が示されておりましたので、計算科目の講義受講時には、5回目までの復習について、この研究結果の通りに復習スケジュールを組み、手帳で管理しました。完璧にスケジュール通りにはいきませんでしたが、多少日程が前後することは許容することでストレスなく復習を行うことが出来ました。また、ちょうど忘れそうなタイミングでの復習となったため、長期記憶に徐々に移っていく感覚もありました。

例

- 2/1 講義受講 →マンスリーカレンダーに、シャーペンで下記復習日記入
 - ①講義の1日後 2/2
 - ② 1 调間後 2/8
 - ③ 2 週間後 2/15
 - ④1ヶ月後 3/1
 - ⑤2ヶ月半後 4/15
- ★あくまで目安として記入。多少ずれても気にしていなかった。 講義受講後の復習①②を特に重視。

(2) 「想起学習」

人間の記憶は、「想起」、つまり思い出す作業をした後に強くなるそうです。「想起」を勉強の中に取り入れるために、テキスト目次から内容を思い出す「目次勉」やテキストに簡単な問題を書き込んで、その回答を思い出す作業を繰り返し行っていました。また、暗記カードアプリ「Anki」を使用することで、ちょっとしたスキマ時間にも「想起」が出来る環境を整えました。1度覚えたことでも忘れるのは当たり前であることも書籍を通じて学んでいましたので、何度忘れても落ち込むことなく、淡々と覚える作業を行っていました。

更に、毎日お風呂の中で、1日の振り返りを必ず行っていました。お風呂の中でリラックスしながら、今日1日でやったことを思い出しました。人間の脳は、 睡眠時間中に記憶が整理されるように出来ていますので、寝る前に振り返りを行うことでより記憶の定着が進んだのではないかと思っています。

3 テキストへの一元化

どの科目でも、間違った箇所や、答練で出たテキストに載ってはいないが押さえておいた方が良い論点などは、テキストに必ず一元化するようにしていました。テキストに書き込む時間が勿体ない、という気持ちになった時もありますが、数多く答練があるので、その論点を振り返りたい時に、その論点を探すことに時間がかかってしまい、結果的に非効率になると思い、時間が多少かかっても一元化を進めていました。

直前期はテキスト中心の学習となるため、一元化したことにより、かなり効率 的に学習できたのではないかと実感しています。

4 各科目のバランスについて

基本的には、1日に全科目に触れることを意識していました。ただし、短答後から4月上旬までは、講義や論文答練などがある為、1日で全科目ではなく、無理のない範囲で学習しました。

4月中旬~論文式本試験までは、基本的に1日全科目触れています。

※具体的な平日の過ごし方・2年間の勉強時間/配分記録は、次ページ表を参照

平日の過ごし方(勉強時間5h35m)

			1				- 1	-, 000	• • • • • • • • • • • • • • • • • • • •																			
1		2	3		4	5	6	7		8	9	10	11		12	13	14	15	16	17	18	19	9	20	21	22	23	24
	E	垂眠	ļ.	起床	(2	勉強 h45		朝の準備	勉強 (45m)		仕	:事		昼食	昼休み 勉強 (45m)			仕事	;	勉強 (20m) <u></u>	夕休	食憩	勉强 (1h	^虫 勍	l.呂 t寝 i.備	睡	眠	
								(15m	/ \ ながらと n) のデスク									きな !強(!		/ <u></u> に車の中・	で				\ 中で、今 いながら			- 1

2年間の勉強時間 配分記録

(※1)

科目名	2020年12月	2021年1月	2021年2月	2021年3月	2021年4月	2021年5月	2021年6月	2021年7月	2021年8月	2021年9月	2021年10月	2021年11月	短答まで合計	比率
財務(計算)	51:32	63:21	70:38	78:24	75:42	76:10	38:15	60:29	52:17	36:33	43:42	42:35	689:38	33.6%
財務(理論)	0:00	0:00	7:21	24:14	29:33	22:43	22:44	45:07	39:13	35:38	40:37	37:22	304:32	14.8%
管理	43:13	20:27	44:16	44:46	32:37	39:31	34:44	47:34	44:07	43:02	37:49	40:22	472:28	23.0%
企業	14:56	31:46	21:43	34:33	28:58	31:43	29:39	24:03	32:58	28:42	35:40	33:35	348:16	17.0%
監査	0:00	0:00	0:00	0:00	18:04	38:02	24:33	26:07	24:37	35:13	36:49	35:00	238:25	11.6%
租税	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0.0%
経営	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0:00	0.0%
合計	109:41	115:34	143:58	181:57	184:54	208:09	149:55	203:20	193:12	179:08	194:37	188:54	2053:19	100.0%

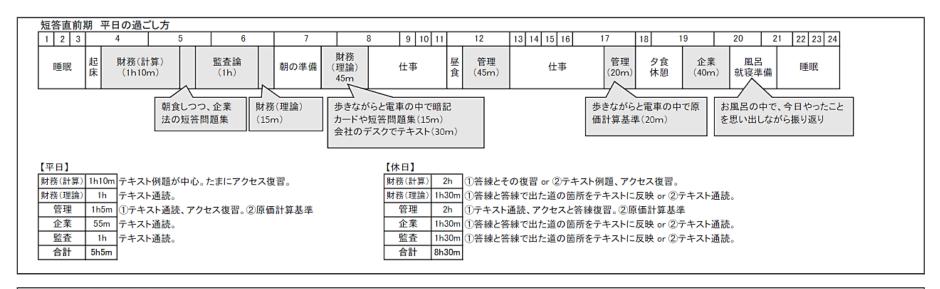
(※1) 2021年10月頃より、各科目の勉強時間のバランスを取ることを意識。

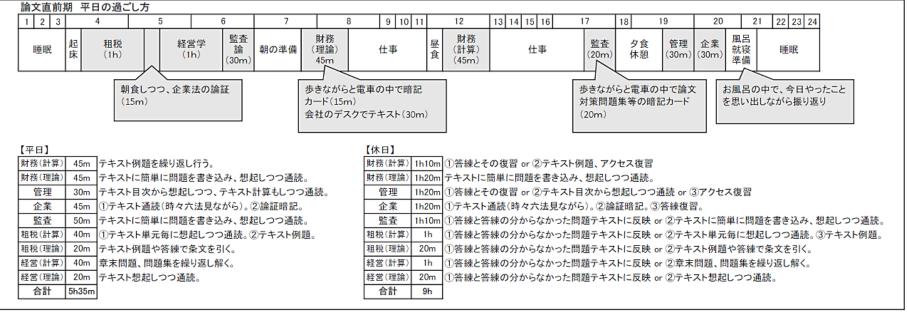
(%2)

科目名	2021年12月	2022年1月	2022年2月	2022年3月	2022年4月	2022年5月	2022年6月	2022年7月	2022年8月	短答~論文合計	比率
財務(計算)	27:40	17:58	19:10	22:34	12:25	16:31	24:34	26:50	17:26	185:08	11.0%
財務(理論)	31:56	22:58	23:32	29:29	23:08	28:27	28:42	26:41	19:42	234:35	13.9%
管理	30:30	36:07	38:12	25:25	19:42	16:46	24:34	28:50	20:00	240:06	14.3%
企業	25:35	18:14	10:31	17:15	17:23	23:06	29:30	29:30	19:05	190:09	11.3%
監査	22:07	18:26	8:23	25:30	33:33	26:49	30:20	32:14	21:11	218:33	13.0%
租税	25:53	54:31	56:42	57:18	43:18	34:11	35:45	36:31	21:49	365:58	21.7%
経営	18:49	28:44	22:56	26:22	31:25	39:47	26:42	34:33	21:06	250:24	14.9%
合計	182:30	196:58	179:26	203:53	180:54	185:37	200:07	215:09	140:19	1684:53	100.0%

総合計	比率
874:46	23.49
539:07	14.49
712:34	19.19
538:25	14.49
456:58	12.29
365:58	9.89
250:24	6.79
3738:12	100.0%

- (※2) 2022年1月~3月は、管理会計テキストチェックゼミに全てパネリストとして参加したため、管理会計の勉強時間が多い。
- (※3) 2022年6月頃より、各科目の勉強時間のバランスを取ることを意識。
- (※) 講義スケジュールは、収録校の実際のスケジュールを参考にしながら決めた(収録校で週3回講義が予定されていたら、自分も週3回講義日程を組む等)
- (※) 全期間において、可能な限り1日に全ての科目に触れることを意識(1科目10~15分でもとにかく触れる)
- (※) 全国公開模試は、全て会場受験。
- (※) 論文対策講義は、監査論(関西: 岡田講師)のみ受講。





5 オンラインサポートの活用方法(個別成績相談、ホームルーム、テキストチェックゼミ)

個別成績相談や定期的に ZOOM で行われるホームルーム、そしてテキストチェックゼミが特に良かったと思っています。

私は地方の通信生で、周りに TAC 生がいませんでしたが、個別成績相談に定期的に行っていましたので、孤独感を感じることなく、また、学習のマイルストーンを確認しながら進められたと思っています。

テキストチェックゼミは、短答式試験後から開始される受講生参加型で、テキストの内容に沿った講師の質問に対し、ランダムに指名された受講生がテキストを見ずに答えるというゼミです。2022 年合格目標時は、管理会計論のみでしたが、現在は財務計算(平林注:アーカイブ済)や、監査論でもゼミが行われているようです。ゼミのためにテキスト内容を覚える必要があり、しかもゼミの時期は租税法や選択科目の講義も受けつつ、答練もある中でもありましたので、非常に大変な時期だったと記憶しています。しかしながら、私の場合には、このテキストチェックゼミに参加していなければ、管理会計論において論文式試験合格レベルまで達していなかったと思いますし、逆に参加していたからこそ好成績だったと思っています。TAC 生の方は、テキストチェックゼミに参加することを強くオススメしたいです。※レジュメ末尾資料

6 失敗談・途中改善したこと

【全体的に】

途中、睡眠時間を削っていたことです。財務理論の講義が始まった2月あたりのタイミングで、睡眠時間を削って講義を受けていましたが、週末に必ず体調を崩すようになり、貴重な休日に集中して勉強をすることができませんでした。このことから、必ず睡眠時間を6時間~6時間半は取るように改善しました。

(※土日・・・7時間など)

【財務計算】

問題集/実力テスト/パワーアップ問題については、間隔を空けて5周は少なくともするようにしていましたが、テキスト例題は見ておらず、知識の網羅性に欠けていました。このことに気付いたのは、2021年5月のお試し短答前です。お試し短答後からは、テキスト例題も見るようにしました。7月頃の短答アクセス答練開始後は、問題集からは卒業し、テキスト例題を中心としながら、アクセス答練も回すことをしていました。

【管理会計論】

講義受講後、問題集を少なくとも 5 周はするようにしていましたが、問題の解き方を覚えて、テキストの内容が頭に入っていませんでした。そこで、抽象化して理解できるようにテキストを読むように改善しました。

ただ、短答後のテキストチェックゼミにてテキストの理解不足を痛感しましたので、テキストチェックゼミでも答えられるように、テキストを再度精読しました。

【企業法】

先取りで企業法を受けていましたが、先取りの講義終了後、テキストではなく 短答問題集の復習ばかり繰り返し行っていたことが失敗だったと思います。その 後、自分の目標年度の講義が始まり受講すると、テキストのうち短答問題集以外 の箇所について、内容を全く覚えていませんでした。短答問題集にて出題されて いる箇所をテキストに一元化しつつ、テキストを横断的に精読するように改善そ たことで、網羅性を保ちつつ、短答問題集の出題箇所もフォローできるようにな りました。

【監査論】

監査の年間のスケジュールなど、横串での理解をしておらず、短答後に苦労しました。関西の岡田講師の論文対策講義にて、理解不足を克服しました。

【経営学】

最初はテキストの数値例や章末問題を中心にしていましたが、その後に問題集 を回すことに集中した時期があり、問題集に載っていないテキストの内容が頭か ら抜けていました。その後、テキスト中心にしながら、問題集に取り組むように 改善しました。

(・財務理論/租税法・・・序盤からテキストへの一元化やテキスト中心の学習を進 めていましたので、失敗したと感じることは特段ありませんでした。)

参考:実際の本試験成績表

令和04年公認会計士試験論文式試験成績通知書 免除資格を取得した科目については、得点率の欄に「※」を表示しています。 を整合性を取得した科目に対する場合には、論文式試験一部科目免除資格通知書を別にお送りしています。

現际資格を取得 科目区分	けた科目がある場合 会計学	監査論	企業法	租税法	経営学	経済学	民法	統計学	総合
得点率	60. 35	69. 10	58. 95	65. 40	56. 95	-	-	-	61. 63
問別得点 (調整後)	─ 31. 6 四 43. 7□ 34. 05 五 43. 95□ 27. 75	- 30. 95 - 38. 15	21. 8537. 1	- 27. 15 - 38. 25	- 26.8 - 30.15	三 - 四 -	五 - 六 -	七 - 八 -	*
順位	210位	21位.	475位.	69位	649位	-	-	-	97位

7 最後に:遠方通信生・社会人受験生へのメッセージ

■遠方通信生へのメッセージ

周りに受験仲間がいないということは、逆に周りの「(根拠のない)こうした 方が良い」といった雑音がなく、講師の言うことのみ聞けるという良い環境にあ るとも言えます。私は Twitter はやっていましたが、Twitter 上の雑音はシャッ トアウトしていましたので、講師陣の言うことだけを聞いて日々過ごしていまし た。そのことも合格につながっていたと今になって思います。孤独感を感じない ように、フォロー制度をうまく活用してほしいと思います。

■社会人受験生へのメッセージ

私よりも勉強時間が取れない受験生の方が多いと思いますが、私や他の受験生の失敗談・成功談を聞くことで、より効率的な学習が出来ると思います。また、スキマ時間は、ご自身が思っている以上にあると思います。私は、会社の中でも、食堂やトイレに向かって歩いている時間やトイレの間でも、アプリを使って暗記をひたすら進めていました。1日合計5分でも、1~2年続けることで大きな成果になります。まとまった勉強時間とスキマ時間で、誤った学習方法をせず、継続さえできれば、合格できると思います。応援しています。

2022年12/12(月)短答後セミナー 今後のスケジュールとポイント 21

【受講生参加型オンラインイベント】

テキストチェックゼミ(管理12/22~3月頃 木曜夜実施、監査論1月~3月頃 日曜夜実施)



管理会計論 安達講師 twitter@nao_tac (新宿収録/日吉校担当)

Q.

◎材料費の計算が迅速化される。
◎材料元帳の計算・記帳事務が簡略化される。
この違いは何ですか?同じことを言っていますか?

「問題」をおさえるのではなく、 論点・処理のパターン分け等が 体系的に整理できているか?

テキストの内容が、適切に想起できるか? テキスト内容をゼミ形式でチェックする。 主に、管理会計が苦手な論文リスタート生向け。

受講生参加型のオンライン学習イベント!

要するとは、他の形式に限くて本来的な意味と一葉のようながあれてき 性に変えが起からないで、至くインテンストラインディングとしてまたがは、随時間で到りのでいる解析の不正常の プロプラインドでは、日本のであります。 では、アンプロイドとは、日本のでは、日本のでは、「日本のでは、日本のでは



全て19-21時で実施

12/22(木)費目別

12/28(水)製造間接費配賦~部門別★この日は水曜日実施のため注意

1/12(木)個別

1/19(木)総合

1/26(木)標準

2/2(木)直接·原価計算総論 2/9(木)原価計算 総復習

監查論I月以降日曜夜



監査論 岡田講師 twitter@okadak_tac (論文対策講義 関西収録版担当)

【アーカイブ配信済 財務計算テキストチェックゼミ】



財務計算 藤野講師 twitter@shin_fujino (成績相談/日吉校担当)

間接法によるC/Sにおいて調整する営業 外損益・特別損益について、「小計欄以降 のCFに係る」営業外損益・特別損益とされ る。そこで、P/L上は営業外損益または特 別損益に計上されるが、間接法によるC/S における営業活動によるCFで調整されな い項目をあげてください。 23目標Webschool「講座からのお知らせ」に、 23目標財務のアーカイブ有り。 処理のパターン分け想起・整理に有用と感じたら、 アーカイブのレジュメや動画、音声データを活用。 【注】別途、実際に問題演習の時間を確保。